

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020301010200		事業の種類	4				
年度	23	事務事業名	高齢者教育事業		予算事業名	高齢者教育事業		重要度	4	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	教育委員会生涯学習課				
施策名(中)		高齢者の生きがいつくりと社会参加を推進する			担当課長	西角隆行		担当者名	松本雅弥	
取組み事項		生きがいつくりを推進する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)	概ね満60歳以上の市民								
	誰(何)を対象として	概ね満60歳以上の市民								
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の生涯学習を行うことで、生きがいをもって自立した生活が送れる								
事業の全体年度		事業着手年度	(年度)			事業完了予定年度	(年度)			

2 事業の概要 Do

実施の概要		金ヶ崎学園大学の開設				
活動実績	項目	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度計画
	金ヶ崎学園大学	回数	11	14	14	14

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円					
インプット指標		21年度決算	22年度決算	前年比	23年度決算	前年比	24年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.025	0.026	104	0.024	92	0.026	108		
	参事以下職員	0.087	0.087	100	0.120	138	0.120	100		
	臨時職員	0.099	0.099	100	0.400	404	0.400	100		
支出内訳	人件費	1,144,144	1,158,861	101	2,201,584	190	2,259,100	103		
	事業費	541,276	550,172	102	644,571	117	706,000	110		
	合計	1,685,420	1,709,033	101	2,846,155	167	2,965,100	104		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債			-		-		-		
	その他	744,000	782,000	105	817,000	104	706,000	86		
	一般財源	941,420	927,033	98	2,029,155	219	2,259,100	111		
合計		1,685,420	1,709,033	101	2,846,155	167	2,965,100	104		

※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円			
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	
全体進捗率	事業費累計				/
	進捗率				

4 評価指標

【有効性】

指標名1		金ヶ崎学園大学学園生								
指標説明(式)		学園生人数								
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考	
人数	目標	537	530	98.7	540	101.9	520	96.3		
	実績	537	561	104.5	589	105.0				
指標名2		金ヶ崎学園大学年間延参加者数								
指標説明(式)		年間延参加者数								
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考	
人数	目標	6,500	7,500	115.4	7,800	104.0	7,000	89.7		
	実績	6,466	7,858	121.5	7,935	101.0				

【効率性】

指標名1		1回当たり単位コスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷開設回数							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-	211,792	-	
	実績	153,220	122,073	79.7	203,296	166.5			
指標名2		学園生参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷学園生人数							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-	5,702	-	
	実績	3,138	3,046	97.1	3,677	120.7			

5 事業の評価(23年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	講座の提供を通し、市民に適切な情報提供を行っている	4
	市民ニーズ	高齢化率の高い本市において、そのニーズが非常に高い	
有効性	成果目標(改善)達成度	施設のキャパの関係もあるが、受講者数は上限まできている	4
	市民サービス	高齢化が進むにつれ、年々学園生が増加している	
効率性	コストの節減	参加者募集チラシは庁内印刷にするなどコストの節減に努めている	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	学習を通して地域のリーダーとして活躍していただけるような意識付けをする

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた24年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民ニーズにこたえるため、参加しやすい日程を組むなどの工夫を行った。平成23年度は、開校30周年を記念し、シニア・フェスティバルを開催した。



配点	32.5
総合評価	25